

# 平成 29 年度 第 1 回 東金市地域公共交通会議 議事録

1. 日 時 平成 29 年 6 月 28 日（水） 10 時 00 分～11 時 30 分

2. 開催場所 東金市役所 3 階 第 1 委員会室

3. 出席者 出席 22 名、代理出席 2 名、欠席 5 名、事務局 6 名

出席：川嶋委員、猪野委員（都市建設部長）、石崎委員※、笹尾委員、仲田委員、小川委員、三須委員、吉井委員、林委員、座古委員、小泉委員、佐瀬委員、渡部委員、相京委員※、越川委員、小林委員、澤田（佳）委員、望月委員※、宇野委員※、中村委員（市民福祉部長）、青木委員（経済環境部長）、鈴木委員（教育部長）※

代理：早野委員（深山氏）、岡崎委員（池田氏）

欠席：大塚委員、飯塚委員※、山下委員※、澤田（恒）委員、藤井委員

※：新規委員

事務局：矢野企画政策部長、長尾企画課長、猪野副課長、森統計調査係長、長井主任主事、石田主事補

## 4. 会議次第

### 1 開 会

#### ・会議成立の報告

委員の過半数の出席（22 名出席）であり、東金市地域公共交通会議設置要綱第 7 条第 3 項の規定により、会議が成立していることの報告

### 2 川嶋副会長あいさつ

### 3 新任委員及び事務局紹介・・・委員名簿

### 4 議 事

(1) 役員の選任について・・・資料 1

(2) 平成 28 年度 東金市地域公共交通会議 事業報告・決算について【審議】・・・資料 2-1  
《監査報告》・・・資料 2-2

(3) 平成 29 年度 東金市地域公共交通会議 事業計画(案)・予算(案)について【審議】・・・資料 3

(4) デマンド型乗合タクシーの利用実績について【報告】・・・資料 4-1、4-2

(5) 市内循環バス（福岡路線・豊成路線）利用実績について・・・資料 5-1、5-2

(6) 市内循環バス豊成路線「下武射田（調整池前）」バス停留所について・・・資料 6

(7) 平成 30 年度（H29.10-H30.9）地域内フィーダー系統確保維持事業について【審議】・・・資料 7

(8) 市内循環バス運行評価基準（案）について【報告】・・・資料 8

(9) その他

## 5. 閉 会

## 【概要及び今後の課題】

### ■ 議事

- (1) 役員の選任について（資料 1）  
会長 ……東金市 都市建設部長 猪野 喜久雄 委員 （委員互選）  
監査委員 ……東金市議会 総務常任委員会 委員長 石崎 公一 委員 （会長任命）
- (2) 平成 28 年度 東金市地域公共交通会議 事業報告・決算について（資料 2-1）  
承認
- (3) 平成 29 年度 東金市地域公共交通会議 事業計画(案)・予算(案)について（資料 3）  
承認  
（第 3 回会議までにバスターミナル、パークアンドライドについての案を作成する。）
- (4) デマンド型乗合タクシーの利用実績（H28 年度）について（資料 4-1、4-2）  
今後の課題  
・一般のタクシーの方が効率的ではないか。  
・運行の効率化（予約不成立件数及びキャンセル件数の低減、システム改修等）
- (5) 市内循環バス（福岡路線・豊成路線）利用実績（H28 年度）について（資料 5-1、5-2）  
今後の課題  
・便によってルート・運賃等を変えることで利用者増加を図れないか。  
・利用者数の少ない 1 便や、利用者の少ない停留所を削減してはどうか  
・長大路線を短縮し、1 運行 30 分程度にできないか
- (6) 市内循環バス豊成路線「下武射田（調整池前）」バス停留所の移動について（資料 6）  
承認
- (7) 平成 30 年度（H29.10-H30.9）地域内フィーダー系統確保維持事業について（資料 7）  
承認
- (8) 市内循環バス運行評価基準（骨子案）について（資料 8-1、8-2）  
今後の課題  
・行政負担率 50%という最終的な目標は記載すべき  
・1 日 1 便でも対象外か。  
・市のサービスの平準化、地域差をなくす
- (9) その他  
今後の課題  
・乗合タクシーの乗降場を九十九里鐵道のバス停から離せないか。

○ 平成 28 年度 東金市地域公共交通会議 事業報告・決算について【審議】 資料 2-1

(事務局)

【資料 2-1 について説明、資料 2-2 により監査報告】

※ 前年度監査委員が欠席のため事務局代読

○ 平成 29 年度 東金市地域公共交通会議 事業計画(案)・予算(案)について【審議】 資料 3

(事務局)

【資料 3 について説明】

(委員)

第 3 回会議の (3)、(5) について詳しく説明されたい。

(事務局)

バスターミナルについても、商業施設と連携したパークアンドライドについても、平成 27 年度末に策定した総合交通計画の中に盛り込んでいる事業ではあるが、現段階では青写真があるものではない。第 3 回の会議までには案をご提示したいと考えている。

(委員)

東金駅を想定したものかと思うが、西口と東口のどちらを対象としたものか、もしくは両方か。

(事務局)

商業施設と連携したパークアンドライドとしては、サンピアがターゲットとなっているため、東口がメインになると考えている。西口についても何かしら検討していきたい。

(議長)

パークアンドライドについては、11 月までに事務局で案を検討していくように。

(委員)

11 月頃に案を提示するまでの間に、商工会議所の各部会や、市民へのアンケート等の意向調査を予定しているか。

(事務局)

商業施設と連携した、というものについては、商業施設のご意向次第となるので、商工会議所と調整の上で進めていきたいと考えている。

○ デマンド型乗合タクシーの利用実績 (H28 年度) について【報告】 資料 4-1、4-2

(事務局)

【資料 4-1、4-2 について説明】

運行時間を減らしたが、運行回数や利用者数は増加した。

曜日別に見ると、金曜日の利用が比較的多い。

時間帯別に見ると、朝夕に利用のピークがある。

東金地区や田間地区など市街地に居住する方の利用が少ない傾向にある。一方、日吉台地区の利用者数は他の地区と比較して多い。

利用者の約 70% を 65 歳以上が占めている。また、約 24% を障がい者が占めている。

予約不成立件数とキャンセル件数のいずれも、本格運行以降、増加している。運行の改善だけでなく利用者への呼びかけ等により改善を目指したい。

(委員)

一般タクシーの1回の平均乗車人員は何人か

(委員)

2,3人と認識している。

(委員)

乗合タクシーの方が少ないということか。

(委員)

乗合タクシーの場合、乗合になりにくい場合もある。

(委員)

乗合タクシーの方が乗合率が低いのであれば、一般の営業に対する補助を出した方が効率が良いのではないかと。無理やり乗合にする意味はあるのか。

1日あたりの平均運行回数からすると、1日10回程度となっている。一般乗用であれば、もっと運行しているのではないかと。効率が悪いと感じている。考え方を改めてはどうか。

数字は変化がない。考え方を変えなければならないのではないかと。

(事務局)

一般乗用としてのタクシーでは別地域の方の乗合が出来ない。各地の方が乗り合うためには乗合タクシーが必要だと考えている。意見を踏まえ検討する。

(議長)

私見ではあるが、制度自体が異なるため、やむを得ないという面があるのではないかと。

(委員)

同じ地域における乗降について、その調整はどのようにしているのか。

キャンセル件数について、対象はどのようなものか。連絡がない場合も対象か。

キャンセルの内容についてはどのようなものがあるのか。

(事務局)

システムにより調整をしている。基本的には予約の電話のあった順に。

キャンセル件数は、同日。連絡の有無は問わず。前日までにキャンセルの連絡があったものは計上していない。

キャンセルの主な理由としては次の順となっている。

1. 都合が悪くなった。

2. 体調が悪くなった。

3. 連絡なし。

システムで対応しており、人の判断ではない。

(委員)

システムで乗合になることでキャンセルになってしまう人もいるのか。

(事務局)

乗合により時間がずれる等する場合、キャンセルではなく、予約を受け付けることが出来ない。

○ 市内循環バス（福岡路線・豊成路線）利用実績（H28年度）について【報告】資料5-1、5-2

（事務局）

【資料5-1、5-2について説明】

福岡路線の利用者数が減少していた一方、豊成路線の利用者数は増加していた。

両路線において乗合タクシーの利用者数は減少しており、利用者の住み分けは継続しているものと考えられる。

便別の利用状況を見ると、第2便が最も多く、第1便が最も少ない。運行する車両数や1便に係る時間等を踏まえ、より利用しやすいダイヤ、ルートになるよう、両地区の循環バス推進委員会と協議を進めたい。

（委員）

運行時間が長いことについて、30分程度に市街地にでかけられるような利便性を確保すれば利用者が増えるのではないか。

（事務局）

両地区において、循環バス推進委員会において協議していただいている。路線を長くすれば、恩恵を受ける方は増えるが、不便になってしまう。一方、中心となる経路のみとしてしまうと、利用できない方が出てきてしまうかも知れない。

（委員）

目的地に到達するまでに時間が掛かりすぎる、という意見も出ている。これまでも知恵を絞っている。

特に、求名駅西口についてや、みのりの郷について、課題が残っていると認識している。

国道に出て行くのに、ベイシア、鉄工所の側の道を通って、ぐるぐる回っている。みちの駅に入ることでも時間がかかってしまっている。西口側やみのりの郷はいらないのではないか。豊成地区としても求名駅は東口の利用が多い。ただし、求名駅西口側の利用者もいるかも知れない。

（委員）

求名駅西口については、雨天時のみ学生が2、3名乗車することがあるが、好天時は乗車していない。

（委員）

1便の利用者が少ない。1便の値段を下げる等により利用者増加を狙えないか。

時間がかかるという課題があるが、1便については快速運転が出来ないか。乗車される方のルートに合わせ、ルートを変更し、30分程度で市街地まで出られるように設定すれば良いのではないか。そうした宣伝をすれば利用者は増えるのではないか。

（事務局）

ご指摘を踏まえ、地元の方々と協議を続けたい。

（委員）

1便は止めたのではなかったか。過去の会議でそう決まっていたのではないか。

（委員）

廃止していない。

（委員）

「あれば便利」というものではなく、「なくては困る」というもの。利用者が少ないから廃止してしまえ、と単純に出来るものではない。

(事務局)

事務局においても、廃止の決定を諮ったことはないと認識している。  
確認する。

(議長)

事務局には確認させ、次回会議の際に報告させる。

#### ○ 市内循環バス豊成路線「下武射田（調整池前）」停留所の移動について【審議】 資料6

(事務局)

【資料6について説明】

隣接土地所有者からの申立てがあった。

移動先の隣接土地所有者や地区の了承はいただいているとのこと。

承認をいただき次第、地区や事業者と調整の上、停留所の位置を移動し、交通事業者である九十九里鐵道株式会社から停留所移動の届出を提出していただく。

#### ○ 平成30年度（H29年10月－H30年9月）地域内フィーダー系統確保維持事業について【審議】 資料7

(事務局)

【資料7について説明】

デマンドタクシーの運行に関して、国の補助金を申請すること、運行事業者として市内タクシー事業者3社に委託することについて審議いただきたい。なお、昨年度に承認をいただいた仲田タクシー(有)の参入については、許認可や県入札システム関係の手続きが終わり次第、契約に入り、これに伴い、補助金の申請にも盛り込む予定。

(議長)

フィーダー系統とは何か説明されたい。

(事務局)

地域公共交通確保維持改善事業という国庫補助事業のうち、自治体間を運行する「地域間幹線系統」と自治体内を運行する「フィーダー系統」がある。フィーダーとは幹線系統と自宅からの輸送を接続するもの。

#### ○ 市内循環バス運行評価基準（骨子案）について【報告】 資料8-1、8-2

(事務局)

【資料8-1、8-2について説明】

前回の会議においてご指摘を踏まえ、行政負担率の数値目を50%から70%に変更した。また、その他の指摘事項等を資料8-2にまとめた。

ご意見をいただき、また、地区循環バス推進委員会における協議等を経て、最終的な案として会議の場にご提示したいと考えている。

(委員)

東金市内の公共交通は整備されているとは言えない。P4の通り、路線バスの廃止が決定したところが対象であるため、1日1本でも路線バスが走っているところは対象外となってしまう。

目標値については、昨年度の3月時点では50%とされていた。厳しいため70%にしたとのことだが、この点については良く考える必要がある。行政が支出するバスの補助金は課題が多く難しい。行政が7割出すといっても、残り3割を運賃等で賄えるのか、しっかりと検討しなければならない。

行政が出すこと前提になっていると、バスは一旦廃止にした方が良く、という話しになってしまう。当分は70%であっても、最終的には50%にすることを明記しておかなければ、このままになってしまう。ただ、便利だから運行している、とされてしまう。将来的な目標として明記するよう提案したい。

(事務局)

前回のご指摘から段階的に数値を盛り込んだが、根底には50%という目標がある。明記できるよう検討したい。

(委員)

行政としてのサービスは市内全体を対象とすべきものであり、一部地域のためのものではない。コミュニティバスは便利であり、また、デマンドタクシーを市内全域で運行する、ということだが、デマンドタクシーが本格運行する際には、コミュニティバスは廃止すると決まっていたように思う。にも関わらず、循環バスにも地元の方が乗っていることを理由に運行を継続している。このままでは、他の地区の方との格差が出てきてしまう。こうした行政サービスの地域格差が出ないように検討されたい。

## 【その他】

### ○ デマンドタクシーの乗降場所について

(委員代理)

九十九里鐵道のバス停付近での乗降をしていただいているが、そうしたバス停を避けて頂くことはできないか。

(事務局)

バス停付近の乗降場所としては、わかりやすい目印として当初から設定している。

九十九里鐵道側で不都合があるということであれば検討していきたい。

(委員代理)

実績報告を見る限りでは、利用者がいる。当社の収入にも影響が出ている。避けて頂きたい。

(事務局)

幹線系統への接続という面も含め、個別協議としたい。

### ○ 超小型モビリティについて

(事務局)

超小型モビリティのチラシについて説明。

季美の森を拠点として、東金市、大網白里市、千葉市緑区を中心とした実証実験の打診が事業者からきている。動きがあれば今後ともご報告していく。